

国立研究開発法人国立がん研究センター理事会（平成 27 年度第 12 回）議事録

日 時 平成 28 年 3 月 25 日（金）10：00～11：50
場 所 国立研究開発法人国立がん研究センター 第 1 会議室
出席者 堀田知光理事長 児玉安司理事 松本洋一郎理事 南砂理事 門田守人理事
中釜斉理事
小野高史監事 長崎武彦監事

議事概要

I. 理事会（平成 27 年度第 11 回）議事録の確認

- ・議事録について、資料のとおり了承された。
- ・議事録署名人を中釜斉理事と小野高史監事をお願いした。

II. 審議事項

1. 新研究棟 8 階の実装について

- ・新研究棟 8 階部分の実装について資料に基づき説明がなされた。
- ・新研究棟を有効に活用していくことも重要。収支計画を実現して頂くことが必要との意見が出された。
- ・収支見込みが下廻らないよう、今後コスト面についても努力をして頂き、センター全体として資金繰りに不安がないよう、責任をもって進めて頂きたいとの意見があった。
- ・新研究棟 8 階の実装について了承された。

2. 平成 28 年度計画（案）について

- ・平成 28 年度計画（案）について資料に基づき説明がなされた。
- ・投資枠の考え方について意見交換があり、現場スタッフが、経営への参加意識が持てるように収支と投資効果について分かりやすい説明が必要との意見が出された。
- ・研究成果の最大化を可視化するために数値目標の設定を求められているが、数値目標の実現性について質疑があった。
- ・効率化による収支改善の内、材料費等の削減、未収金の改善について意見交換があった。
- ・平成 28 年度計画（案）について了承された。

3. BCP(案)について

- ・BCP(案)について資料に基づき説明がなされた。
- ・計画を立てることが目標とならないよう注意し、現実的に災害発生時に行動ができるようなシステムとなることが重要との意見が出された。
- ・減災を考えることで現実的なアイデアも生まれてくることのあるとの意見が出さ

れた。

- ・4月から委員会等を立ち上げ、さらに細部を詰めた計画を練っていくとの説明がなされた。

Ⅲ. 報告事項

1. 慶應義塾大学鶴岡キャンパスとの連携について

- ・慶應義塾大学鶴岡キャンパスとの連携について資料に基づき報告がなされた。

2. リチウムターゲットの病院設置型 BMCT システム

- ・3月1日(火)に行われた「世界初となる病院設置型リチウムターゲットBMCTシステム」についてメディア向け内覧会を実施したとの報告がなされた。

3. NCC グッズ制作・取扱いについて

- ・広報活動、職員の帰属意識を目的にNCCグッズの制作、取扱い及びロゴマーク、ロゴタイプの平準化を目的とした組み合わせについて資料に基づき報告がなされた。

4. 広報実績について

- ・2月20日から3月18日までの間にあったプレスリリース、取材申込み等について報告がなされた。

5. 2月分月次決算について

- ・平成28年1月までの実績に基づく平成27年度決算見込み及び平成28年2月分月次決算、病院指標等について報告がなされた。

6. その他

- ・新年度からの役員及び執行役員の交替等について報告がなされた。
- ・退任予定である堀田理事長に対し、名誉総長の称号授与について提起され、了承された。